

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 丹後福社会

・ 社会福祉法人丹後福社会事業報告	1
・ 特養部事業報告	3
・ 第二特養部事業報告	8
・ 在宅部事業報告	13
・ ケアハウス部事業報告	21
・ 地域福祉部事業報告	25
・ 庶務部事業報告	33
・ トランスファー委員会事業報告	37
・ 認知症委員会事業報告	37
・ 安全運転委員会事業報告	37
・ 安全衛生委員会事業報告	38

令和6年度社会福祉法人丹後福社会事業報告

私たちを取り巻く社会環境は、少子高齢化の進行による人口減少・家族構成の変化、地震や異常気象による大規模災害の発生、戦争・紛争及び関税問題による不安定な世界情勢、物価高などによる経済不安など、様々な要因により引き続き厳しい状況にあります。

そのような中であっても、法人が理念に掲げる「お一人おひとりを大切に、質の高いサービスの提供により、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献させていただきます」を基本とし、法人の現状と将来、そして地域社会のあり方を適切に見極め、第三期中期経営計画を基に地域とともにある福祉施設として取組を進めているところです。

また、全国各地で発生している大規模地震により、大きな被害を受けた地域の中には、地震前の状態に復興することが困難な状況も見られるものもあります。このことは、福祉事業所として災害時にとるべき対応を適切に行うための様々な教訓を示しており、当法人では自然災害発生時におけるBCPを策定していますので、これを実効性があるものにするため、日頃の訓練や災害時の対応の確認、備蓄品の確保などの取組は、日常的に進めているところです。

施設関係では、ご利用者の皆さんに安全・安心の生活を過ごしていただくことに合わせ、より良いサービスを目指し業務の効率化や改善等を進めるための施設改修等を行っており、本年度の主なものとしては、第二丹後園のWi-Fi整備、ケアハウス道路側溝改修、老朽化した車の買い替えなどを行いました。

また、老朽化が著しい浜詰デイサービスセンターについては、事業計画で予定していたとおり年度末に廃止を行うとともに、計画している新しい通所介護事業所の整備予定地として、市が公募していた旧浜詰小学校跡地を購入したところです。

その他にも、老朽化等により運営に支障が出てきている施設もありますが、整備には多額の財源が必要なものもあり、今後のサービスと施設の在り方と財政負担を法人全体として検討し、サービスの見直しも行っているところです。

職員体制については、人材確保のため年間を通して職員募集を行い、中途採用が一定数できていることに加え、令和7年4月の新卒職員4人の採用をすることができました。今後も充実したサービス提供を行っていくためには、職員個々の力量を引き上げていくことが重要であり、研修への積極的な参加と内部研修の充実により職員の育成に努めているところです。

重点事項

1 <地域における福祉サービスの充実に取り組みます。>

- ・多様化するニーズへの対応力の強化など、お一人おひとりに合ったケアの充実に取り組みます。

ご利用者の個別ケアの推進のため、アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、ご利用者の自立支援を意識した計画作成を行うなど、ご利用者が生きがい

を感じ、楽しく安心して過ごせるよう、生活の質の向上に向けた取組を実践してきました。

また、法人内での認知症や看取りケアの研修会や勉強会、地域への福祉や介護の普及啓発活動や学校への学習会等を実施しました。

- ・社会資源の状況を把握し積極的に地域とつながりを持つとともに、行政・関係機関と連携し、地域住民の暮らしを支えます。

福祉事業所としての機能や特色を生かし、地域活動への積極的な参加を心掛け、相談窓口の強化など、地域に開かれた事業所となるよう努めています。

作成したBCP（業務継続計画）を基に、行政・地域との連携を図り、災害時等にどのような状況になっても適切な対応ができ、サービスを継続的に提供できる体制づくりの取組を進めています。

2 <職員の質の向上に努め、誇りをもてる職場づくりを進めます。>

- ・職員の経験や能力に合わせたキャリアアップの取組を進めます。

職員の資質向上の取組として、新人職員に対し育成計画を作成し研修を行うとともに、新人以外の職員にも研修計画を作成し、キャリアパス・職位に応じた研修への参加や職員の希望する研修に参加してきたことでモチベーションの向上にもつながっています。また、幅広い知識を持つ専門性の高い職員の育成に努めるとともに、研修したことを現場に活かす取組も進めています。

また、人材不足の対応として、外国人技能実習生受け入れを行っています。

- ・職員が安心して働ける事業所を目指します。

国の制度改正に合わせ、育児関係の制度の見直しや、手当等の改定を行いました。

若い職員が法人運営について関係する会議等への参加について、取組ができていないため引き続き検討を行います。

3 <施設等の整備に努めます。>

- ・福祉ニーズ及び施設の現状を把握し、将来の施設サービスの在り方の検討を進めます。

浜詰デイサービスセンターについては廃止し、新たな通所介護事業所の整備のため、市有地を購入し整備用地を確保しました。

施設の安全性や利便性を確保することを目的に必要な改修を行っていますが、老朽化のため改修に時間を要するものや、多額の費用を伴うものなどがあるため、各事業所の状況を踏まえ、法人全体としての施設サービスの在り方や内容の検討を進めています。

特養部 事業報告

事業所名 特別養護老人ホーム丹後園

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	100.0%	97.4%	98.0%	99.2%	97.5%	99.5%	
令和6年度	99.5%	97.6%	96.7%	96.7%	97.3%	96.4%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	98.6%	95.7%	98.0%	98.3%	98.3%	99.7%	98.4%
令和6年度	97.8%	97.3%	96.8%	95.6%	96.4%	95.0%	97.0%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	計
令和5年度	0	122	2,936	9,771	5,167	17,996人
令和6年度	0	0	2,899	8,756	6,031	17,686人

3. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	平均介護度
令和5年度	0人	0人	8人	25人	16人	4.2
令和6年度	0人	0人	7人	26人	16人	4.2

4. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳
0人	0人	1人	4人	7人
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
8人	12人	12人	5人	90.8歳

5. 入院・通院状況

入院状況 年間入院者数合計28人（令和5年度：11人）

病院名	診療科目	入院者数	
京丹後市立久美浜病院	5人	内科	4人
		泌尿器科	1人
京丹後市立弥栄病院	14人	内科	7人
		整形外科	4人
		循環器内科	2人
		外科	1人
丹後中央病院	7人	整形外科	2人

		内科	3人
		循環器	1人
		消化器内科	1人
丹後ふるさと病院	1人	口腔外科	1人
北部医療センター	1人	消化器内科	1人

通院状況 年間受診者数合計 126人 (令和5年度: 110人)

病 院 名		診 療 科 目	受 診 者 数
丹後ふるさと病院	21人	甲状腺科	5人
		眼科	4人
		歯科	2人
		神経内科	3人
		循環器科	2人
		内科	1人
		CT 検査	4人
京丹後市立弥栄病院	28人	救急	9人
		眼科	2人
		外科	1人
		循環器	3人
		整形外科	11人
		総合診療	2人
京丹後市立久美浜病院	18人	救急	7人
		整形外科	1人
		皮膚科	2人
		泌尿器科	3人
		口腔外科	4人
		外科	1人
丹後中央病院	25人	救急	6人
		整形外科	8人
		神経内科	2人
		内科	5人
		耳鼻科	4人
たちばな診療所	30人	歯科	30人
ふくい腎・泌尿器科クリニック	2人	泌尿器科	2人
京都府立北部医療センター	1人	救急	1人
ドクターメイト	1人	皮膚科	1人

6. 終末支援の状況 年間終末期支援者合計5人（令和5年度：4人）

氏名	年齢	入所年月日	退所年月日	病状・病名
A	93歳	令和3年3月25日	令和6年5月15日	老衰
B	95歳	令和3年2月25日	令和6年9月12日	左基底核脳梗塞
C	91歳	令和4年6月20日	令和6年9月5日	老衰
D	96歳	令和2年8月14日	令和7年1月3日	老衰
E	104歳	令和5年11月10日	令和7年2月20日	老衰

7. 退所の状況（男性1人・女性16人 計17人）（令和5年度：10人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
女	0	3	0	1	1	4	1	1	1	1	2	1
計	0	3	0	1	1	4	1	1	1	1	3	1

退所の内訳

	男	女
死亡（当該施設）	0人	6人（内看取り5人）
病院	1人	10人

8. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月		10月	消防訓練 夜間想定避難訓練 焼き芋大会
6月	消防訓練 日中想定避難訓練	12月	忘年会、クリスマス会 フラワーアレンジメント
7月		1月	新年会
8月	夏を感じる会（中止）	2月	節分
9月	敬老祝賀会	3月	

9. ボランティア、クラブ活動状況

冬季の感染症流行期を避け、暖くなる5月から毎月1回定期的にハーモニカボランティア活動の受入れを行いました。今年の3月には通算150回目を迎え、盛大にお祝いをしました。外部の方たちと触れ合う貴重な機会であり、懐かしい歌を口ずさむことで、自然と笑顔になり楽しい時間を過ごしました。

10. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
5件	231件

介護事故は全て居室内であり、転落が3件、転倒が2件でいずれも骨折をされています。

ヒヤリハットの件数は前年度に比べ少し減少しています。転倒・転落・ずり落ちの件数は、「眠りスキャン」により増加を防ぐことができています。皮膚剥離や内出血は件数が多く目立つため、移乗等の介助方法の見直しや日々のスキンケアに努めていきたいと思えます。

1 1. 特別養護老人ホーム丹後園 事業報告（総括）

今年度は事故と感染症の発生が続き、対応に苦慮する1年となりました。例年なら1件ほどの介護事故件数が5件という異例な数字であり、全ての事故は居室内での転倒、転落事故でした。事故の中では眠りスキャンに頼りすぎている部分や、眠りスキャンの反応も完璧ではないという課題も見えました。今後は危機意識を共有していくことで、同じ事故が起こることの無いように努めていきます。

また、感染症ではコロナウイルスへの感染が年間を通じて起こりました。感染が拡大してしまったケースもあり、感染症に対する感染予防対応策を全職員が同じ認識で行うことができていなかったため、今後は実践を交えた研修を繰り返し行い、感染を最小限に抑えられるようにしていきたいです。

ご利用者の急変や、酸素化不良による救急受診や救急搬送も多く、入院者は例年の2倍以上の数字となりました。中でも誤嚥性肺炎の診断が多く、食事形態の見極め、摂取行動の観察や介助方法の見直しを徹底し行っています。

皮膚トラブルに関しては、ドクターメイトのオンライン診療が開始となり、日中相談を利用することで早期の症状改善に繋げることができました。

新しい職員がなかなか定着しない中で、職員の負担も大きくなっています。少しでも職員の負担軽減に繋げられるように、ノーリフティングケアについての勉強会を行い、生産性向上委員会を中心に移乗用リフト導入に向け検討を重ね、次年度には導入することになりました。

例年になく入退院、入退所の人数が多く、満床になる事も殆ど無く、落ち着かないまま年度を終える形となりました。色々な課題も多く見えた一年でした。再度、初心に戻り、接遇・観察力・記録力・伝達力という基本的な部分を高めていくことが必要だと考えます。

今後も、ご利用者お一人おひとりが、健康で、心穏やかに、笑いのある楽しい暮らしができるように支援させていただきます。

事業所名 特別養護老人ホーム丹後園（短期入所事業）

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	90.8%	102.4%	98.3%	98.4%	107.3%	100.8%	
令和6年度	100.0%	100.8%	103.3%	97.6%	107.3%	116.9%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	112.1%	115.8%	97.6%	91.9%	101.7%	98.4%	101.3%
令和6年度	103.3%	100.0%	101.7%	104.0%	116.9%	113.4%	104.8%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 Ⅰ	要介護 Ⅱ	要介護 Ⅲ	要介護 Ⅳ	要介護 Ⅴ	計
令和5年度	0	0	61	163	729	504	10	1,467人
令和6年度	0	0	34	205	478	733	79	1,529人

3. 特別養護老人ホーム丹後園（短期入所事業） 事業報告（総括）

ご利用者の平均年齢は91歳で例年と変わりませんが、前年度よりも要介護度の高い方の利用が増えました。急な利用希望等、ご利用者の在宅生活の継続に必要なニーズにできるかぎり対応できるよう多職種が連携・協力しながら支援に努めました。

ご利用者の急な入院やキャンセル、コロナウイルス感染対応に伴い、7月と令和7年3月に、やむを得ずショートを受け入れを中止することがありましたが、空床利用や緊急ショートを受け入れを積極的に行うことで、全体的には高い稼働率を維持することができました。

今後に関しても、他サービス事業所と連携しながら、地域のお困りの方々のニーズにあった支援を行っていただけるよう、安心・安全・安楽なサービスの提供に努めていきたいと思っております。

第二特養部 事業報告

事業所名 特別養護老人ホーム第二丹後園

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	98.4%	99.4%	98.6%	99.4%	99.8%	99.5%	
令和6年度	99.1%	98.7%	96.9%	97.7%	98.9%	97.8%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	100%	99.2%	99.4%	97.7%	98.3%	99.4%	98.6%
令和6年度	98.9%	98.9%	99.7%	99.7%	100%	99%	98.8%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	計
令和5年度	0人	0人	2,096人	11,072人	5,084人	18,252人
令和6年度	0人	0人	1,821人	9,915人	6,291人	18,027人

3. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	平均介護度
令和5年度	0人	0人	6人	30人	14人	4.2
令和6年度	0人	0人	6人	23人	20人	4.2

4. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳
0人	0人	0人	1人	7人
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
6人	14人	15人	6人	92.2

5. 入院・通院状況

入院状況

年間入院者数合計13人（令和5年度：13人）

病 院 名	診 療 科 目	入 院 者 数
丹後中央病院 6人	消化器内科	1人
	整形外科	2人
	内科	2人
	循環器内科	1人

京丹後市立弥栄病院	4人	内科	2人
		整形外科	1人
		外科	1人
京丹後市立久美浜病院	3人	内科	2人
		外科	1人

通院状況

年間受診者数合計 148人 (令和5年度: 145人)

病院名	診療科目	受診者数	
丹後中央病院	41人	整形外科	8人
	眼科	6人	
	皮膚科	6人	
	循環器内科	1人	
	消化器内科	1人	
	耳鼻科	12人	
	救急外来	3人	
	泌尿器	1人	
	外科	2人	
	呼吸器	1人	
京丹後市立弥栄病院	36人	整形外科	11人
	循環器内科	3人	
	総合診療科	1人	
	神経内科	1人	
	呼吸器	1人	
	皮膚科	1人	
	救急外来	3人	
	精神科	15人	
京丹後市立久美浜病院	8人	皮膚科	1人
	泌尿器科	4人	
	外科	1人	
	救急外来	2人	
丹後ふるさと病院	30人	婦人科	8人
	内科	3人	
	皮膚科	7人	
	CT	8人	
	歯科	2人	
	眼科	2人	
たちばな診療所	7人	歯科	7人
豊岡病院	2人	皮膚科	2人

ふくい腎・泌尿器科クリニック 2人	泌尿器科	2人
ドクターメイト 22人	皮膚科	22人

6. 終末支援の状況 年間終末期支援者合計10人（令和5年度：4人）

氏名	年齢	入所年月日	退所年月日	病状・病名
A	104歳	平成31年3月25日	令和6年5月22日	老衰
B	101歳	令和4年10月28日	令和6年5月22日	老衰
C	89歳	令和3年11月27日	令和6年7月11日	老衰
D	104歳	令和2年9月14日	令和6年7月21日	老衰
E	89歳	令和3年12月26日	令和6年8月13日	老衰
F	103歳	令和4年1月19日	令和6年9月1日	老衰
G	91歳	令和2年12月13日	令和6年9月11日	老衰
H	95歳	令和4年7月3日	令和6年10月7日	老衰
I	96歳	令和2年4月11日	令和6年11月1日	老衰
J	85歳	令和元年7月1日	令和6年3月30日	老衰

7. 退所の状況（男性1人・女性16人 計17人）（令和5年度：13人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	2	1	2	2	3	2	1	0	1	0	2
計	0	2	1	3	2	3	2	1	0	1	0	2

退所の内訳

	男	女
死亡（当該施設）	1人（内看取り1人）	10人（内看取り9人）
病院	0人	6人

8. 年間行事等報告

第二丹後園全体やユニットごとの企画など、感染防止を心がけたうえで季節に合わせた行事を企画することができました。

外出の機会は減りましたが、業者による菓子販売、訪問理美容、訪問ネイル、メイク施術など、ご利用者の楽しみにつなげられる取り組みを行うことができました。

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	お花見（ユニットごと）	10月	消防訓練、不審者対応訓練、運動会、感染症発生時対応訓練
5月	母の日企画（ユニットごと）	11月	焼き芋企画
6月	消防訓練 父の日企画（ユニットごと）	12月	感染症発生時対応訓練、クリスマス企画（ユニットごと）

			忘年会（ユニットごと）
7月	七夕企画	1月	新年会（ユニットごと）
8月	夏祭り企画（ユニットごと）	2月	節分・豆まき
9月	敬老祝賀式	3月	ひな祭り（ユニットごと）
その他	誕生会・ドライブ企画		

9. ボランティア、クラブ活動状況（定期活動のみ）

面会における制限を継続しているなか、定期的なボランティア受け入れが出来ず、令和6年度において、ボランティア活動の報告はありません。

今後は、状況を鑑みながら、ボランティアの受け入れを行うこととします。

10. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
3件	520件

介護事故発生件数は3件あり、転倒、転落による骨折が2件、誤薬等が1件でした。骨折に関しては、入院に至ったケースが2件でした。

また、ヒヤリハット報告として、全体の統計からは、軽微なものを含めて、内出血、皮膚隔離、ベッドからのずり落ちなどが非常に多くみられ、日頃のケア方法を検討しました。今後は、事故予測の報告を充実させることで、未然に対策を講じていけるよう努めていきます。

11. 特別養護老人ホーム第二丹後園 事業報告（総括）

令和6年度は、ご利用者17人が第二丹後園や病院でお亡くなりになり、入退所が非常に多い年となりました。その中で、ご利用者が最期までその人らしい生活を続けられることを意識しての関わりを行いました。日々の生活の中では、24時間シートの利用、食事の工夫、健康管理、家族との連携、ご利用者の生活リズムを大切に考えることができました。

また、限られた職員人数の中で、業務の見直しや工夫を行い、職員の働きやすさの検討を続けています。導入した介護用リフトや、スライディングボードの使用により、ご利用者の安全な移乗や、介助者の腰痛予防など負担軽減になり、また業務の効率化にも繋がりました。

事業所名 特別養護老人ホーム第二丹後園（短期入所事業）

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	97.9%	98.7%	98.9%	97.9%	98.7%	99.1%	
令和6年度	100.7%	97.4%	95.0%	92.6%	95.2%	96.3%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均

令和5年度	99.3%	99.4%	99.4%	96.8%	97.9%	98.2%	98.5%
令和6年度	97.4%	98.0%	98.4%	93.9%	98.6%	97.4%	96.7%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

【介護保険ショートステイ】

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和5年度	5	0	188	645	1,111	1,289	296	3,534人
令和6年度	8	2	182	432	1,216	930	758	3,528人

【障害ショートステイ】

	障 1	障 2	障 3	障 4	障 5	障 6	障 1 ナ	障 2 ナ	障 3 ナ	障 4 ナ	障 5 ナ	障 6 ナ	計
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18人
令和6年度	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

介護保険ショートステイ利用者+障害ショートステイ利用者=3,530人

3. 特別養護老人ホーム第二丹後園（短期入所事業） 事業報告（総括）

事業を休止することなく1年間を過ごすことができました。利用実人数の減少はありましたが、ご利用者1人あたりの利用日数が増え、稼働率を維持することができました。

障害ショートステイに関しては、定期利用はなく、不定期で1泊のご利用がありました。

業務の見直しを行い、職員もご利用者も過ごしやすい環境となるよう検討を行いました。また、基本に立ち返り、優しく丁寧な声掛け・対応を行うよう心掛けました。

在宅部 事業報告

在宅部は、丹後園デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、訪問入浴及び今年度末で廃止しました浜詰デイサービスセンターの4つの介護保険事業所と、介護保険外事業の在宅介護支援センターが所属し、事業所ごとに特色と役割を持ち、ご利用者のニーズに柔軟に対応するサービスを実施しました。また、ご利用者が安心して自宅で生活ができるように、多職種との連携を図り、介護保険サービス以外の地域資源とつなぐ役割も担いました。

廃止した浜詰デイサービスセンターは令和6年8月末で休止としたため、そのご利用者については、丹後園デイサービスセンターが中心となり居宅介護支援事業所と連携し、ご利用者やご家族に大きな不安を与えないように精神面のフォローも行いながら、丹後園デイサービスセンターで受け入れましたので、大きな問題は無く移行ができたと考えています。

訪問入浴は、月曜日に2件の枠で運営しましたが、自宅で最期を迎えられるご利用者に対応するため他の曜日にも行いました。京丹後市内では2事業所しか訪問入浴事業を行っていないため、今後も自宅で終末期を迎える方への柔軟な対応を行っていきたいと思います。令和7年度からは在宅看取りに限り、網野町以外のご利用を希望する方の相談にも応じていく予定としています。

地域の文化祭や福祉講座などの行事に参加し、地域福祉の推進を目指した啓発活動を行いました。また、学校へ福祉講師を派遣し、福祉を知ってもらう活動にも参加しました。

毎月、勉強会や実践研修及び意見交換を行うことで、職員の能力と専門性を高める努力をしました。また、働きやすく風通しの良い職場となるように、日々のミーティングや定期的開催される会議を中心に意見交換を行いました。今後も、ご利用者やご家族に選ばれる施設となるよう努力を重ねていきたいと思っています。

事業所名 丹後園デイサービスセンター

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	86.5%	98.5%	82.0%	86.8%	90.4%	94.4%	
令和6年度	100.0%	108.9%	106.5%	114.5%	114.5%	120.5%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	94.1%	95.9%	90.5%	87.3%	88.0%	88.5%	90.2%
令和6年度	124.3%	117.6%	117.2%	116.4%	110.4%	107.2%	113.2%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和5年度	481	1,079	1,649	2,546	1,235	788	345	8,123人
令和6年度	342	1,008	2,373	3,366	1,992	838	265	10,184人

3. 月別利用者数

要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	21	19	20	20	18	20	
延べ利用者数	122	127	118	116	108	101	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	22	21	20	20	20	20	20.1人
延べ利用者数	126	111	109	111	107	94	112.5人

要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	74	80	86	84	85	91	
延べ利用者数	628	690	681	743	743	803	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	87	83	87	85	85	85	84.3人
延べ利用者数	806	771	770	762	719	710	735.5人

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月		10月	消防訓練
5月		11月	不審者対応訓練・文化祭展示 家族交流会
6月	消防訓練	12月	非常災害避難訓練(机上訓練)
7月	七夕・夏祭り	1月	新年会
8月		2月	
9月	敬老会	3月	

七夕・夏祭り企画では、ご利用者の方が広告紙で作成したゴミ箱や手縫いの雑巾をたちばな保育所に寄付し、子供さんや保育士さんに喜んでいただきました。

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
1件	85件

介護事故は、ホール内を移動中に転倒され、右大腿部頸部を骨折された事故が1件ありました。ご利用者の動きの予測、見守りを職員間で再確認しました。

ヒヤリハットの件数では、転倒が一番多く、次いで情報共有不足による配膳間違いや忘れ物などが目立ちました。ご利用者の人数が増えたことや、ご利用者の身体機能が低下したにも関わらず、支援方法の見直しが遅れたことが要因であると考えられます。そのため、毎月のケア会議で、ケアの再確認と必要に応じて見直しを実施し、職員全体での情報共有を強化しています。

6. 丹後園デイサービスセンター 事業報告（総括）

ご利用者、ご家族の思いや希望に寄り添い、機能を維持していただけるような支援に努めました。ご利用者の身体機能の把握に努め、その方にあった福祉用具の提案や、安楽な姿勢で過ごせるように、介護支援専門員やご家族との連携を図りました。

やりがいを持って生活していただけるように「給料の出るデイサービス」の取組を継続しました。シール貼りのお仕事は、年間を通じて提供ができ、やりがいに繋がっていると思います。

家族交流会では、昨年に続きご家族にデイサービスの見学に来ていただきました。実際にホール内や浴室を見ていただき、レクリエーションに参加をされることで、ご家族より「楽しそうにレクリエーションに参加をしている姿を見ることができて、安心しました。」「レクリエーションも一緒に参加させてもらい楽しかったです。」等のお言葉をいただきました。

福祉の啓発活動として、網野中学校に福祉体験の講師の派遣を行いました。地域の方々に、福祉についての知識を持っていただくため、今後も活動を継続して行きたいと思えます。

防犯訓練や消防訓練を実施し、職員同士の声の掛け合い、慌てず迅速な対応ができるように避難場所や対応方法の再確認を行いました。また、新たに作成された業務継続計画の想定訓練の実施を行いました。

職員の働きやすい職場づくりを目指し、気持ちよく業務ができるように職員間で環境整備について見直しました。今後も、ご利用者が安全に安心して利用していただき、職員がやりがいを持って働ける事業所づくりを目指したいと思えます。

事業所名 浜詰デイサービスセンター

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	69.6%	76.1%	70.9%	68.4%	64.3%	67.7%	
令和6年度	37.9%	24.7%	14.9%	15.2%	14.1%	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	67.9%	68.3%	68.7%	64.9%	57.9%	55.3%	66.7%
令和6年度	0	0	0	0	0	0	21.4%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和5年度	129	60	2,781	2,321	458	251	0	6,000人
令和6年度	23	0	330	283	165	0	0	801人

3. 月別利用者数

要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	2	2	1	1	1	0	
延べ利用者数	7	8	3	2	3	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	0	0	0	0	0	0	1.4
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	4.6

要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	29	22	14	12	12	0	
延べ利用者数	277	177	109	112	103	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	0	0	0	0	0	0	17.8
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	155.6

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ	10月	
5月		11月	
6月	非常災害対応訓練 緊急連絡網訓練	12月	
7月		1月	
8月	ご馳走週間	2月	
9月		3月	

上記の行事に加え、手作りおやつや、数回の誕生日会を実施しました。最終月の8月は、管理栄養士の提案によりご馳走週間を作り、皆さんにお寿司などを召し上がっていただきました。また、毎月、ケアビクスの講師に来ていただき、身体を動かす機会を作りました。

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	3件

介護事故はありませんでした。ヒヤリハットは、椅子からのずり落ちが1件、バランスを崩され転倒されそうになったケースが1件、歯磨き粉と間違えてハンドソープで歯磨きをされたケースが1件でした。全職員で情報を共有し、再発の防止に取り組みました。

6. 浜詰デイサービスセンター 事業報告（総括）

「あなたの笑顔・ステキ顔」をモットーとして、ご利用者の思いやペースに合わせた支援を行いました。

毎年開催していた行事企画を行っていきたいところでしたが、8月末に休止することに伴い職員の体制に余裕がなくなったため、お花見ドライブや手作りおやつの行事しか行うことができませんでした。その中でも、ご利用者に楽しんでいただけるように、日々の体操やレクリエーション、創作活動に力を入れ、季節を味わっていただけるように壁画などもこまめに変更しました。

職員の知識の向上を図るため、感染拡大防止やプライバシー保護の研修会を実施しました。また、在宅部合同勉強会や委員会活動を行い、マニュアルや指針を見直す機会を作りました。

地域の活動はクリーン作戦に参加しただけでしたが、浜詰区・塩江区・木津区の民生児童委員宅を訪問してデイサービスセンターが休止することをお知らせし、地域でお困りの方や、デイサービスセンターをご利用されている方からの相談を受けられた場合は連絡が欲しい旨お願いをしました。

他事業所への移行がスムーズとなるように、居宅介護支援事業所と連携を取りながら、ご利用者やご家族の不安の軽減を図りました。そのため、大きな混乱は見られず、移行ができたと感じています。

事業所名 丹後園居宅介護支援事業所 (介護予防支援事業を含む。)

1. 居宅介護支援請求人数 前年対比（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	242	238	236	244	234	234	
令和6年度	225	227	235	228	216	226	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	243	246	252	243	229	220	2,861
令和6年度	219	209	209	204	207	214	2,619
							-242

2. 介護度別請求人数・割合 前年度対比（人）

	要支援 1・2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
令和5年度	294	1,045	978	369	368	101	3,155
令和6年度	328	827	889	490	343	70	2,947
人数増減	+34	-218	-89	+121	-25	-31	-208
令和5年度	8.0%	64.1%		26.6%			
令和6年度	11.1%	58.2%		30.7%			

3. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	10件

介護事故はありませんでしたが、ヒヤリハットが10件ありました。内訳は、サービス利用の変更の連絡不備が4件、提供表などの作成間違いが2件、個人情報取り扱いミスが1件、訪問時間に遅刻が1件、アポイントメントミスが1件、時間の管理不足が1件でした。ヒヤリハットに関しては、内容を日誌にあげ同じミスがないように内容を共有しています。

4. 丹後園居宅介護支援事業所 事業報告（総括）

職員の退職により、担当ご利用者の引継ぎや交代業務の遂行と並行し、近隣の介護支援事業所が縮小する中、滞りのないよう新規の受け入れを行いました。

前年度に引き続き、積極的に地域に出向き、福祉を広める活動に参加しました。郷地区の地域懇談会への参加、浜詰区の文化祭にて寸劇を披露することで、人生会議を開催することの意味や、介護保険の内容などを地域の方に知ってもらう機会になったと感じています。また、網野中学校へ福祉体験学習への講師派遣を行いました。同じ議題で中学生にグループワークをしてもらうことで、福祉について考える機会を提供したと同時に、新鮮な意見を聞くことができ、職員も勉強する機会となりました。

令和6年度の介護保険の改正により、多様化、複雑化する課題に対応できる能力を養うため、研修を行うことが算定要件となりました。京丹後市こども部子育て支援課主催の「ヤングケアラー支援における学校の役割と地域の連携講演会」、「ケアマネジャーのための障害者難病患者の支援、障害当事者の支援研修」、生活福祉課に依頼し「生活保護制度の出前講座」等に参加し、様々なご利用者やその他のニーズに対応できるよう学びを深めました。その他、網野・弥栄・丹後町ケアマネ会議や地域ケア個別会議などにも出席をしました。特に、自立支援型地域ケア個別会議においては、一つの事例について、多職種で意見交換することで、専門的な視点や支援方法、新たな地域資源の発見ができ、深い学びとなりました。

担当ご利用者のご家族から、ドメスティックバイオレンスの相談を受け、あみの包括支援センターに相談し、長寿福祉課、峰山警察署の生活安全課と連携したケースもあります。ケースを通して、包括支援センターとの綿密な連携や、早期に警察署に相談に行くことが大切であることを学び、全職員に周知を行いました。

浜詰デイサービスセンターが8月末で休止することになり、デイサービスセンターと連携し、ご利用者、ご家族に不利益がないように調整を行いました。
また、在宅での看取りを希望されるご利用者を支えるため、医療機関との連携を密にし、きめ細かな調整を行いました。訪問入浴事業所とも連携し、お亡くなりになる数日前にご自宅で入浴していただくことができ、ご利用者、ご家族の希望に沿えたと感じています。

事業所名 丹後園訪問入浴

1. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
令和5年度	0	0	0	0	0	0	79	79
令和6年度	0	0	0	2	2	1	38	43

2. 丹後園訪問入浴 事業報告（総括）

前年度に続き、月曜日の午後2件の枠で稼働をしました。利用状況としましては、ショートステイの合間だけのご利用が多く、安定した運営ではありませんでした。

長期間入浴ができていなかったご利用者は義足であり、安全な入浴方法を検討することで、気持ちよく入浴していただくことができました。

また、終末期を迎えられた4人のご利用者の支援も行いました。利用回数は少なかったですが、ご本人やご家族より「気持ち良かった。」「お風呂が好きだったので、お湯に浸かることができ良かった。」とのお言葉を聞かせていただきました。
今後も、ご本人やご家族の思いに寄り添いながら、「その人らしさ」を大切にしたいと思っております。

事業所名 丹後園在宅介護支援センター

1. 相談実績及び相談内容

介護保険その他の保健福祉サービスに関する事の内訳	件数（延べ）
① 介護保険申請・認定関係	3
② 介護サービス関係（住宅改修・福祉用具以外）	3
③ 住宅改修・福祉用具関係	7
④ 施設入所関係	0
⑤ 介護保険以外のサービスに係る相談、問い合わせ	1
⑥ 認知症及び精神保健、介護方法に関する相談	0
⑦ 医療、健康に係る相談	1
⑧ 介護家族の健康等に係る相談	2

⑨ 成年後見・権利擁護に関する相談	0
⑩ 高齢者虐待に関する相談	1
合 計	18件

2. その他の活動実績

業 務 内 容	事 業 実 績	回 数
会議・研修会等連携業務	・京丹後市地域ケア推進会議	1回
	・網野地域ケア推進会議	0回
	・自立支援型地域ケア個別会議	2回
	・網野・弥栄・丹後地域ケアマネジャー会議	4回
その他業務 (家族支援・認知症事業 ・普及啓発活動等)	・虹の会	3回
	・網野中学校福祉体験学習への協力	1回

3. 丹後園在宅介護支援センター 事業報告（総括）

相談業務の内容は、住宅改修・福祉用具関係が多く、購入するまでに使用できるか試してみたいのでポータブルトイレを貸し出してほしいという依頼が5件ありました。また、外出したいが、長距離の移動が困難であると相談された方には、車椅子の貸し出しを行っています。その他には、ご家族から暴力を受けているので助けて欲しいと相談を受け、長寿福祉課や生活福祉課、警察署員とも連携し、その方の生命を保護する支援にも携わりました。

丹後保健所や京丹後市が定期的開催する会議にも出席し、地域課題の発見や抽出、多様化する難ケースにも対応できる能力を高められるように自己研磨しました。

相談の内容が、「相談しやすいケアマネジャーを紹介して欲しい」、「受診しなくてはいけない状態だが受診してくれない」など、多岐にわたる内容となっています。今後も、多職種と連携し迅速に対応できるように努力したいと思います。

ケアハウス部 事業報告

事業所名 ケアハウス丹後園

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	99.0%	98.0%	99.0%	100.0%	98.4%	98.1%	
令和6年度	87.4%	90.0%	93.6%	93.3%	87.7%	91.1%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	96.7%	94.2%	96.2%	94.7%	86.6%	87.5%	95.7%
令和6年度	92.1%	88.6%	83.8%	82.6%	87.0%	77.8%	87.9%

2. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	自立 事業対 象者含	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	平均 介護度
令和5年度	5	0	5	10	6	2	0	0	1.3
令和6年度	4	1	3	11	4	1	3	0	1.5

3. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳
0人	0人	2人	2人	3人
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
6人	6人	8人	0人	88.5歳

4. 入院状況 年間入院者数合計 17人（令和5年度：9人）

病院名	診療科目	入院者数
丹後中央病院	内科・整形外科	7人
京丹後市立久美浜病院	泌尿器科・内科・整形外科	4人
京丹後市立弥栄病院	内科	1人
京都府立医科大学附属 北部医療センター	内科	1人
ふるさと病院	内科・整形外科・歯科	4人

5. 退所の状況（男性1人・女性6人 計7人）（令和5年度：4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
女	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1

計	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

退所の内訳

	男	女
病 院	1人	3人
同施設特養入所	0人	1人
他施設入所	0人	1人
自施設内死亡	0人	1人

6. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花祭り、花見ドライブ	10月	ドライブ企画、消防訓練
5月	母の日企画、こどもの日企画	11月	うどん作り企画、高齢者大学書道展、大学芋作り
6月	消防訓練、そば外食企画	12月	忘年会 マジックショー、大学芋作り
7月	ソーメン企画、ゴキブリ団子作り	1月	互礼会（ぜんざい）、書初め、福笑い、俳句会
8月	団子企画、地藏盆	2月	節分企画
9月	敬老会、俳句会（おはぎ） いも餅作り、喫茶店企画	3月	ひな祭り企画

7. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
4件	49件

事故、ヒヤリハットともに転倒によるものがほとんどでした。転倒されると骨折に繋がりが、4人のご利用者が骨折で入院されました。自室で過ごされる時間が多いためか、筋力低下、体力低下が見られます。転倒予防体操やレクリエーションなども積極的に参加していただけるよう呼びかけ、懇談会時にはできるだけ後ろ向きのままで歩行したりしないなど、安全な移動の意識付けもお願いしています。

また、口腔体操の時に足の運動も取り入れるなど、筋力低下防止に取り組みました。

8. ケアハウス丹後園 事業報告（総括）

入院者・退所者共に多く、稼働率がかなり低い年でした。申込者もなかなか無く、空き部屋を埋めることが困難でした。

平均介護度が上がり、ヘルパー訪問やデイサービスの利用回数が増えています。職員も個別の状況に応じ、ケアマネジャーやご家族と相談しながら、環境整備や生活の支援を行う時間が増えています。

平均介護度や平均年齢が上昇したことに加え、筋力・体力の低下も目立ち、転倒事故で骨折し入院されるご利用者が4人ありました。ヒヤリハットも前年の9件から4

9件に増え、その大半が転倒でした。居室に閉じこもらず、できるだけ部屋から出ていただくよう、転倒予防体操や頭の体操、レクリエーションなど工夫を凝らし参加を促し、楽しみを持って身体を動かしていただくよう努めました。

ケアハウス内で夜間亡くなられたご利用者があり、比較のお元気なご利用者とはいえ、ご高齢であるため何があってもおかしくないと改めて認識し、気を引き締め支援に努めています。

事業所名 丹後園ホームヘルプセンター

1. 訪問件数 (前年度対比、第一号・障害を除く。)

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
生活援助	94	98	101	98	97	75	
身体生活	152	169	158	165	124	146	
身体介護	278	297	271	292	228	230	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
生活援助	59	84	92	87	95	90	89.2
身体生活	146	143	148	146	123	122	145.2
身体介護	216	251	263	300	320	351	274.8

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
生活援助	71	60	59	59	69	71	
身体生活	128	139	108	117	97	96	
身体介護	272	326	241	249	237	231	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
生活援助	39	27	51	57	68	84	59.6
身体生活	95	86	91	107	90	97	104.3
身体介護	245	232	224	246	155	194	237.7

2. 介護度別利用延べ提供数 (前年度対比、年間計、障害を除く。)

	要支援 I	要支援 II	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計 (回数)
令和5年度	310	483	1,781	2,146	867	755	558	6,900
割合	4.5%	7.0%	25.8%	31.1%	12.6%	10.9%	8.1%	
令和6年度	313	586	1,180	2,048	708	683	199	5,717
割合	5.5%	10.3%	20.6%	35.8%	12.4%	11.9%	3.5%	

3. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	12件

介護事故の発生はありませんでした。

ヒヤリハットは、訪問先や訪問時間の間違いなどの報告が多くを占めました。訪問予定の思い込みや確認のもれが完全に防ぎきれないところがあるので、システムとして見直しができる部分は改善に取り組みたいと思います。今後も丁寧な介護を続けていきたいです。

4. 丹後園ホームヘルプセンター 事業報告（総括）

登録ヘルパーの減少が続き、8月頃からヘルパー利用の受入れを制限していたこともあり、前年度と比べて年度後半は、利用者数、訪問件数ともに減少が目立ちました。網野町内にあった他のヘルパー事業所が休止し丹後園のみとなったことから、多数のご利用者の受入れ要請がありました。このため、フルタイムのヘルパーを増員し、12月から少しずつ新規利用者の受入れを実施し、3月以降は利用者数、訪問件数ともに増加に転じています。特に要支援の独居のご利用者が増加し、支援内容としては、入浴や排泄といった身体介護より、買い物や調理といった家事援助支援がニーズとして増加してきています。加齢や病気などで社会活動が制限されてしまうご利用者にとって、地域の社会資源の利用や、近隣、ご友人の方々との交流を続けながら、ヘルパーとして求められる役割を果たしていきたいです。一方でヘルパー訪問を開始することによって、支援されてきた人や利用できたものが遠ざかってしまうケースもあり、地域で暮らし続けるご利用者にとってこれまでの生活をサポートできる支援者であるよう今後も活動を続けていきたいと思います。

地域福祉部 事業報告

令和6年度は、年始にかけて季節性感染症の流行がありましたが、各職員が連携して対応することで早期に終息する等、年間を通じて落ち着いた運営に取り組むことができました。また、地域住民のボランティアの受け入れ等、地域との交流機会を例年以上にもつことができました。

また、地域福祉部の各事業が共同で実施している陽だまりカフェについては、月2回、計24回実施し、延べ164人の方にご参加いただきました。次年度以降も、各事業活動が充実したものとなるよう、丁寧で、堅実な運営に努めたいと思います。

事業所名 ふれあいホーム桃山

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	93.1%	96.6%	96.6%	96.6%	89.7%	93.1%	
令和6年度	89.7%	82.8%	96.6%	89.7%	82.8%	79.3%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	89.7%	93.1%	93.1%	79.3%	86.2%	89.7%	91.4%
令和6年度	86.2%	93.1%	86.2%	89.7%	89.7%	86.2%	87.7%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和5年度	0	0	1,790	6,147	4,009	1,293	427	13,666人
令和6年度	0	0	2,357	3,359	3,633	2,801	428	12,578人

3. 月別利用者数

要支援（延べ利用者数）

令和6年度は、要支援認定者のご利用はありません。（令和4年7月以降利用なし。）

要介護（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通い（利用者数）	382	376	365	420	375	359	
訪問（利用者数）	601	600	633	694	618	646	
宿泊（利用者数）	27	29	23	48	38	23	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均

通い(利用者数)	390	408	329	347	365	415	377.6人
訪問(利用者数)	672	629	798	706	538	545	640.0人
宿泊(利用者数)	28	36	21	26	30	38	30.6人

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	お花見ドライブ	10月	消防訓練
5月	春の運動会企画	11月	焼き芋大会/文化祭
6月	消防訓練	12月	
7月	夏祭り企画	1月	お正月のお祝い(新年会企画)
8月	桃山区地蔵盆へ出店	2月	節分企画/節分太鼓
9月	敬老会企画/下岡区敬老会	3月	ひな祭り企画

※地域交流スペース陽だまりの利用状況

陽だまりカフェ：月2回実施（第2、第4水曜日）

ピーチサロン：毎月1回（第1木曜日）

桃山区松寿会：輪投げ練習27回、健康促進事業1回

桃山区：地蔵盆、草刈り時の休憩場所

職員検診：2回利用（5月、10月）

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
2件	16件

介護事故は、歩行時の転落が1件、誤薬が1件ありました。

ヒヤリハットに関して、服薬の提供忘れなどの薬に関するものが7件と最も多く、次いで帳面や洗濯物の返却間違いなどがありました。これらは、確認不足によるものが多く、介護事故の誤薬にもつながったと考えます。ヒヤリハットから、対応・対策に努め、事故とならないよう注意したいと考えます。

6. ふれあいホーム桃山 事業報告（総括）

令和6年度は、10人のご利用者が契約終了となっています。内訳は、特別養護老人ホーム入所2人、入院後在宅復帰困難による契約解除5人、ご家族宅又はご家族の近くへ転居2人、急な体調変化による死亡1人です。

また、新規利用については、申込みの際、既に身体介護や生活支援、医療面等の支援を多く必要とされている方が多数おられます。そのため、体調変化・悪化につながりやすい方が多く、ご利用者の支援を安定的に提供できるよう、丁寧な調整が必要となっています。また、契約し利用開始までの間に、事故等による死亡や入院されるケースもあり、利用までの空き期間が長くなり、稼働率（実人数）が前年度と比べ下がっています。

必要な支援が行えるよう、介護技術の勉強会等を実施し職員の能力向上に努め、効率的な業務ができるよう定期的に業務内容の確認や見直しを行っています。

これまで毎月実施していた行事や企画のうち、主たる行事は年3回(夏祭り・敬老会・新年会)としました。他の企画は食事やおやつ、レクリエーション等で工夫し、職員が注力するポイントを定めることで内容を深め、他の業務に時間が使えるようにしました。それにより、今年度から新たな形で地域行事への参加も行っています。

桃山区の地蔵盆では炊き込みご飯の販売を行い、下岡区の敬老会では寸劇による特殊詐欺防止の啓発なども行うことができました。地域に開かれた事業所として認知していただき、相談等をしてもらいやすい関係づくりにも努めていきたいと考えています。

職員間での積極的なコミュニケーションや医療機関等の連携に努め、的確な情報共有をもとに、ご利用者の体調管理を行い、安定した生活、意欲的で活動的な時間が持てるケアに努めたいと考えています。

事業所名 ふれあいホームあみの

1. 施設利用稼働率 (前年度対比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	111.1%	83.3%	100.0%	116.6%	94.4%	94.4%	
令和6年度	88.8%	77.7%	94.4%	88.8%	88.8%	72.2%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	94.4%	94.4%	94.4%	88.8%	88.8%	77.7%	94.9%
令和6年度	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	77.7%	94.4%	84.7%

2. 介護度別利用延べ日数 (前年度対比、年間計)

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和5年度	0	200	2,554	1,932	2,182	2,406	804	10,078人
令和6年度	0	52	2,084	2,271	3,206	1,301	12	8,926人

3. 月別利用者数

要支援 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通い(利用者数)	9	9	8	0	0	0	
訪問(利用者数)	9	8	9	0	0	0	
宿泊(利用者数)	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通い(利用者数)	0	0	0	0	0	0	2.2
訪問(利用者数)	0	0	0	0	0	0	2.2
宿泊(利用者数)	0	0	0	0	0	0	0

要介護（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通い（利用者数）	198	209	202	209	198	176	
訪問（利用者数）	556	583	577	602	598	459	
宿泊（利用者数）	8	9	9	8	8	9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通い（利用者数）	183	185	196	190	174	185	192.1
訪問（利用者数）	465	507	580	513	548	499	540.6
宿泊（利用者数）	9	8	7	1	1	5	6.8

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ	10月	消防訓練・ドライブ
5月	消防訓練（通報・避難）	11月	運動会・ドライブ
6月		12月	忘年会・餅つき
7月	七夕	1月	
8月	水害訓練	2月	節分
9月	敬老会・下岡区敬老会	3月	ひな祭り・防犯訓練・水の江倶楽部（講和）

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	21件

今年度、介護事故はありませんでした。

ヒヤリハットでは、薬のセット日や提供時間帯の間違い等の報告のほか、移乗の際に内出血させたこと、入浴中に爪がどこかに接触し出血した等の報告がありました。慣れた業務をこなす中で「注意・確認」が疎かにならないよう改めて各自気をつける必要があると感じました。また、移乗等ヒヤリハットに至った経過を分析し、対策を講じ、ご利用者、職員自身の負担軽減にも努める必要があると感じました。

6. ふれあいホームあみの 事業報告（総括）

令和6年度は、コロナが落ち着き、事業所内で楽しみが持てるような企画、催し、日々のレクリエーション等に力を入れていこうという思いを持ちスタートし、ご利用者の楽しみに加え、職員のスキルアップにもつながると期待もしていました。今まで以上の業務負担と、誰かがするだろうという思いから、なかなか力が入らない状況でしたが、創作活動に関しては定着し安定してきました。もっとご利用者を巻き込んだ取り組みができたらと感じています。

職員体制に関しては、途中欠員がありましたが、大きな事故なく運営することができました。生産性向上委員会を機に、勤務別に業務分掌の検討、不要な業務のふりい

分け等、個々の職員が考える機会になっています。変更後はしっかりと評価し、継続、再変更を検討しながら、職員が納得して業務に従事できるよう、次年度も引き続き自分たちで考え実践することに心がけ、働きやすい環境づくりに繋げていきたいと考えています。

事業所名 デイサービスセンター住の江

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	68.6%	66.7%	67.5%	67.6%	64.8%	66.6%	
令和6年度	70.9%	70.4%	70.2%	68.2%	73.1%	79.2%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	68.9%	70.6%	69.1%	55.2%	65.2%	67.2%	66.5%
令和6年度	73.6%	73.2%	69.4%	74.6%	73.6%	77.2%	72.8%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和5年度	169	326	1,709	1,457	771	639	322	5,393人
令和6年度	186	381	1,850	1,565	919	819	168	5,888人

3. 月別利用者数

要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	7	7	8	7	8	9	
延べ利用者数	47	49	49	38	47	54	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	9	8	8	9	8	9	8.1
延べ利用者数	58	48	47	50	36	52	47.9

要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	58	60	57	58	60	59	
延べ利用者数	432	445	407	441	466	461	
時間短縮	9	13	7	10	9	9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	58	57	56	57	55	58	57.8
延べ利用者数	459	447	422	454	423	470	443.9
時間短縮	11	10	12	8	5	10	9.4

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ/防犯訓練	10月	運動会企画
6月	消防訓練	11月	消防訓練/焼き芋
7月	地震訓練/水害訓練	12月	餅つき
8月	残暑祭り	1月	新年会
9月	敬老お祝い(デイ・ほほえみ)	2月	ペーパーフラワー贈呈

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
1件	40件

ヒヤリハットは40件中10件が転倒で、原因については一人移動の際のふらつき、レクリエーションで立ち上がる際にバランスを崩されたことによるものでした。また、水分にトロミの必要なご利用者に、一般のお茶を提供される事案もありました。ケア会議で協議し、見守りや職員同士の声掛け強化、環境整備などにより、改善、再発防止について確認しました。介護事故については、下腿の剥離による出血があり、縫合処置を受けていただく事案がありました。車椅子からの移乗介助時のフットレストの位置が原因と考えられ、介助時の車椅子の取扱いや介助方法についても検討し、再発防止を徹底しています。

6. デイサービスセンター住の江 事業報告(総括)

(1) デイサービスセンター住の江について

ご利用者が増えると、午前中の入浴人数に限りがあるため、午後からの入浴となり、職員が介助のため揃っての行事や企画を従来通りに出来ないことが課題となっていました。少しでもご利用者と職員が一緒になって楽しめる行事や企画を工夫して行いました。また、コロナ流行以来出来ていませんでしたが、多くのボランティアに楽器演奏や歌声などをきかせていただく交流の機会を持つこともできました。また、小中学校には機糸が入っていた袋を使ったペーパーフラワーを届けることもできました。今後も、ご利用者、職員共に今出来ることを大切に取り組んでいきたいと思っております。

(2) サービス付き高齢者向け住宅「ほほえみ」について

入居者の体調も安定しており、一つは栄養バランスのとれた食事の提供ができていることが、関係していると考えています。多くの方は、ほほえみの食事を注文され、食堂でとられています。いつも顔を合わせる職員との信頼関係を大切に、安心と美味しい食事を提供できるよう今後も努めます。

事業所名 グループホームあみの

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
令和6年度	100.0%	100.0%	97.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和5年度	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%
令和6年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.7%	97.1%	99.0%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 Ⅰ	要介護 Ⅱ	要介護 Ⅲ	要介護 Ⅳ	要介護 Ⅴ	計
令和5年度	0	0	854	1,130	611	61	528	3,184人
令和6年度	0	0	926	1,308	334	410	153	3,131人

3. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	要支援 1	要支援 2	要介護 Ⅰ	要介護 Ⅱ	要介護 Ⅲ	要介護 Ⅳ	要介護 Ⅴ	平均 介護度
令和5年度	0	0	2	3	2	0	2	2.7
令和6年度	0	0	2	4	1	1	1	2.4

4. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	
0人	2人	0人	1人	
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
0人	4人	2人	0人	87.7歳

5. 入院状況

年間入院者数合計7人（令和5年度：0人）

病院名	診療科目	入院者数
丹後ふるさと病院	内科	2人
京丹後市立弥栄病院	内科	3人
丹後中央病院	内科	1人
京丹後市立久美浜病院	内科	1人

6. 退所の状況（男性1人・女性2人 計3人）（令和5年度：1人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0

退所の内訳

	男	女
死亡（当該施設）	0人	0人
他施設	1人	2人
病院	0人	0人
その他	0人	0人

7. 年間行事等報告（※行事がない月は記載不要）

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ	10月	消防訓練/夢こども園との交流 （ミニ運動会）
5月	BBQ/焼き芋企画/夢こども園交流 消防訓練/夢こども園交流	11月	芋ほり/京丹後市交通イベント
		12月	クリスマス会
6月	家族交流会	1月	初詣
7月	水害訓練（住の江/ふれあい/G H）	2月	夢こども園と節分交流

8. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
4件	135件

9. グループホームあみの 事業報告（総括）

- (1) 前年度同様に、個別ケアを目標とし、入浴に関しては夜間入浴を継続して行っています。少しでもご利用者の生活がご本人のご希望に沿えるようなケアを提供しています。
- (2) 来年度に向けて
 まだまだご利用者が希望するケアができていない部分もあり、ご利用者の希望や習慣を把握し、過ごしやすい環境を提供できるよう努力していきます。また、業務改善を行うことで、職員が働きやすい環境づくりにも併せて取り組んでいきます。

庶務部 事業報告

1. 職員の配置状況

職員異動状況（年度当初・年度末対比） ※（ ）はパート職員

区分	日付	施設長	事務員	直接介護職員				栄養士	嘱託医	その他	備考
				相談員	介護職員	看護職員	小計				
特養 (短期)	4/1 時点	1	1	2	22 (2)	3 (1)	27 (3)	1	1	(2)	
	3/31 現在	1	1	2	21 (3)	3 (1)	26 (4)	1	1	(2)	
丹後園 デイ (入浴)	4/1 時点			5	5 (2)	1 (1)	11 (3)			1 (3)	
	3/31 現在		1	6	6 (1)	1 (3)	13 (4)			1 (2)	
訪問 介護	4/1 時点				3 (6)		3 (6)				
	3/31 現在				5 (4)		5 (4)				
浜詰 デイ	4/1 時点		1	3	2	(2)	5 (2)			(2)	
	3/31 現在										
ケア ハウス	4/1 時点	1		1	3		4				
	3/31 現在	1		1	3		4				
居宅	4/1 時点		1 (1)		6		6				
	3/31 現在		1		6		6				
第二 特養 (短期)	4/1 時点	1	1	2	26 (2)	2 (1)	30 (3)	1		6 (1)	
	3/31 現在	1	1	2	26 (2)	2 (1)	30 (3)	1		7 (2)	

GH あみの	4/1 時点				7		7				
	3/31 現在				7		7				
桃山	4/1 時点				11 (2)	1 (1)	12 (3)			1	
	3/31 現在				11 (2)	1 (1)	12 (3)			1	
あみの	4/1 時点		1		6		6				
	3/31 現在				7		7	1			
住の江	4/1 時点			4	4 (1)	(2)	8 (3)	1		3 (2)	
	3/31 現在		1	4	3 (1)	(3)	7 (4)			3 (2)	
合計	4/1 時点	3	5 (1)	17	95 (15)	7 (8)	119 (23)	3	1	11 (10)	
	3/31 現在	3	5	15	95 (13)	7 (9)	117 (22)	3	1	12 (8)	

2. 施設整備、設備整備の状況

(1) 施設整備の状況（費用30万円以上）

改修工事名	改修年月	工事依頼先	工事金額	サービス区分
丹後園道路側溝改修工事(2)	R6.4.2	山崎工業(株)	5,159,000円	ケアハウス
あみの・GH浄化槽修繕工事	R6.4.11	(株)丹後衛生公社	368,574円	あみの
丹後園進入路舗装工事	R6.4.15	山崎工業(株)	2,805,000円	特養丹後園
特養丹後園廊下建具設置工事	R6.5.10	金下建設(株)	388,300円	特養丹後園
丹デイ下水中継ポンプ取替	R6.5.23	(株)丹後衛生公社	412,783円	丹デイ
丹デイ自動ドア開閉装置更新	R6.6.10	姫路ナブコ(株)	436,700円	丹デイ
ケアハウス自動ドア開閉装置更新(内側、外側)	R6.6.10	姫路ナブコ(株)	660,000円	ケアハウス
第二自動ドア開閉装置更新	R6.9.10	姫路ナブコ(株)	416,900円	第二丹後園
丹デイ玄関屋根改修工事	R6.12.27	金下建設(株)	1,502,600円	丹デイ
受水槽配管修理・保温工事	R6.12.30	大西衛生(株)	808,500円	特養丹後園
第二厨房用バルク容器取替及び空調用バルク容器撤去工事	R7.1.17	(株)ガスネット	2,266,110円	第二丹後園

(2) 設備整備の状況（購入30万円以上）

購入物品名	購入日	購入先	購入金額	サービス区分
パラマウントベッド5台	R6. 9. 10	(株) 石坪	1, 127, 500 円	第二丹後園
介護用リフト購入	R6. 10. 23	(株) 石坪	540, 710 円	第二丹後園
普通車輛購入（シエンタ）	R6. 11. 22	(有) 上古モータース	2, 690, 000 円	第二丹後園
普通車輛購入（シエンタ）	R6. 11. 22	(有) 上古モータース	2, 690, 000 円	丹デイ
給湯器取替工事一式（特浴）	R6. 12. 30	(株) 室野商店	391, 600 円	あみの
普通車輛購入（キャラバン）	R7. 1. 22	(株) エムエフオーズジャパン	3, 500, 000 円	丹デイ
パラマウントベッド5台	R7. 1. 23	(株) 石坪	1, 127, 500 円	第二丹後園
Wi-Fi 環境整備	R7. 2. 26	(株) 石坪	3, 641, 000 円	第二丹後園
軽車輛購入（アルト）	R7. 2. 28	(株) AHS S	950, 000 円	ヘルプ
火災通報設備取替	R7. 3. 31	(株) 丹新ビル	308, 000 円	第二丹後園
ナースコール整備事業	R7. 3. 31	(株) 石坪	9, 944, 000 円	第二丹後園

3. 寄付の状況

寄付者	日時	寄付金額	寄附の目的
利用者の家族	R6. 5. 28	50, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R6. 7. 23	50, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R6. 9. 17	30, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R6. 11. 12	30, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R7. 3. 12	50, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R7. 3. 25	30, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R7. 3. 26	200, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R7. 3. 31	10, 000 円	社会福祉事業のため

4. 労務管理の状況

職員の年次有給休暇の取得状況

事業	対象人員	一人平均 給付日数	一人平均 取得日数	年休消化率 (%)
法人全体	179人	33.5日	10.3日	30.7%
特養部	36人	31.6日	10.5日	33.2%
第二特養部	47人	32.9日	8.7日	26.4%
在宅部	31人	31.7日	8.7日	27.4%
ケアハウス部	14人	37.1日	15.4日	41.5%
地域福祉部	51人	34.1日	8.0日	23.5%

5. 実習の受入状況

実習種類	学校・機関名	人数	実習期間
相談援助実習	豊岡短期大学	1	4/22～5/2

介護職員初任者研修実習	京都暁星高等学校	1	8/1～9/19
福祉現場介護実習	福祉即戦力人材養成科	2	8/21～8/28
介護等体験	京都女子大学	1	9/2～9/6
福祉現場介護実習	福祉即戦力人材養成科	1	9/3～9/10
福祉体験学習	網野中学校	74	10/18
介護等体験	京都教育大学	1	11/25～11/29

6. 庶務部 事業報告（総括）

職員の人材育成、スキルアップを目的とした支援では、教育訓練給付金を6人の職員が利用され、成年後見人材育成研修（1人）や介護支援専門員更新研修等（5人）を受講し、スキルアップにつながりました。

施設及び設備の整備については、より効果的な整備になるよう、各事業所の予算段階から導入効果の検証に努めました。

補助金等については、京都府から主に「京都府医療機関等物価高騰対策事業補助金」として、光熱費支援事業と食材費支援事業により交付を受けました。その他に京都府から「社会福祉施設等生産性向上・人手不足対策事業費補助金」として生産性向上に向けた環境整備事業により交付を受けました。

今後も各事業の状況を適確に把握し、安定した運営となるように、庶務部として尽力していきます。

トランスファー委員会 事業報告

1. 取組総括

毎年、トランスファーの技術の取得や職員の腰痛防止のための新たな移乗方法などを学んでいましたが、習得した技術を全職員に伝達する機会が少なかったことと、ご利用者のニーズに合わない場合もあることから、令和6年度は休止しました。

2. 取組内容

休止しました。

3. 令和7年度に向けて

介護職にとってトランスファーの技術の習得は欠かせないことであり、委員会の在り方について検討することとします。

認知症委員会 事業報告

1. 取組総括

認知症についての知識や技術を深め、認知症になった人の気持ちや、介護する家族の気持ちを理解することで、質の高い福祉サービスの提供ができるように努めました。

2. 取組内容

今年度は、京丹後市における認知症の方のおかれている状況の確認、地域におけるニーズの確認、地域の取り組みを確認することや、事例検討などを行うことで、認知症に対する知識の向上に努めました。

また、認知症啓発活動として地域の文化祭に参加し、「認知症カルタ」の実施、ゲームの提供により、地域の皆さんと、多くの交流を持つことができました。

3. 令和7年度に向けて

法制度の理解を深め、地域で困っている認知症の方を支えるサービスについて学び、委員会として何ができるのかを考えます。また、地域社会全体に認知症について、正しい理解や知識を広められるよう認知症啓発活動を検討します。

また、ユマニチュードの技術や考え方の伝達、事例検討やケアメソッドについて学ぶ機会をもうけ、認知症のケア力向上を目指します。

安全運転委員会 事業報告

1. 取組総括

職員個々の安全運転意識の向上に努め、交通事故・交通違反ゼロを目指し活動しました。

2. 取組内容

(1) 会議について

交通事故・交通違反に係る情報を共有し、交通事故等を未然に防ぐための活動に努めました。

また、公用車両の整備状況等の確認を行い、安全な運行に努めました。

(2) 車両の点検・整備について

各車両担当者は、週1回の車両点検を行い、整備や修理が必要な場合は、その手配を速やかに行うことができました。

年2回のタイヤ交換を安全運転委員で行い、車両整備の理解を深めることができました。

(3) 安全運転意識向上への取組について

① 安全運転講習会について

運転経験の浅い職員・ベテラン職員・新人職員を対象に、外部講師による安全運転講習会を実施し、運転時に気をつけるポイントを学びました。

② 安全運転への啓発について

啓発運動の期間を、書面及びパソコン共有画面を用いて周知しました。

③ セーフティラリーへの参加

安全運転意識の向上を目指し、全職員が京都府セーフティラリー又は法人内セーフティラリーに参加しました。(7月1日～9月30日の3か月間)

・京都府セーフティラリー

(参加者) 30人中無事故・無違反達成者：29人

・法人内セーフティラリー

(参加者) 123人中無事故・無違反達成者：122人

3. 令和6年度の業務中及び通勤途中の交通事故・交通違反について

令和5年度と比較して、交通事故・交通違反件数は同じでした。大半の交通事故は送迎中の接触事故でした。安全運転委員会では、交通事故・交通違反ゼロを目指し、これからも安全で円滑な運転業務の実現に向けて取り組みます。

安全衛生委員会 事業報告

1. 取組総括

職員の安全衛生上等の課題について対応を検討し、快適な職場環境の形成を促進するための活動を行いました。

2. 取組内容

安全衛生管理体制の充実を図るために、月1回の委員会を開催しました。

職場環境の改善や業務内容の軽減ができるような取組を検討し、毎週水曜日は「ノー残業デイ」として、定時の業務終了を推進しました。

今年度も定期健康診断、深夜業務を行う職員が対象の特定業務事業者健診、腰痛の健康診断、ストレスチェックを実施しました。診断結果が届いた後に、産業医から個別に健康面の助言や指導を受け、心身ともに健康で勤務を続けることができるように推進しました。

感染症に対しては、厚生労働省からの対応通知を周知するとともに対策内容の変更等を再々検討し、全職員に感染症(コロナウイルス感染症以外も含む)罹患時対応の統一を書面で周知しました。

予防接種として、ご利用者、職員の希望者に8回目の新型コロナワクチン接種とイ

ンフルエンザ予防接種を実施しました。

自然災害に対して、業務継続計画に沿って災害備品の確認をしました。

労働災害申請は、介助中の腰痛 2 件、切傷 1 件でした。

3. 令和 7 年度に向けて

新型コロナウイルス感染症やその他感染症の防止対策を引き続き実施し、日々情報を把握し対策の変更や追加を検討します。

熱中症対策の強化を行います。

自然災害時に対し、業務継続計画に沿って取り組みます。

その他、メンタルヘルスを含めた健康管理や職場環境管理、業務管理の改善を推進し、職場における安全衛生が向上できる委員会活動を行います。